

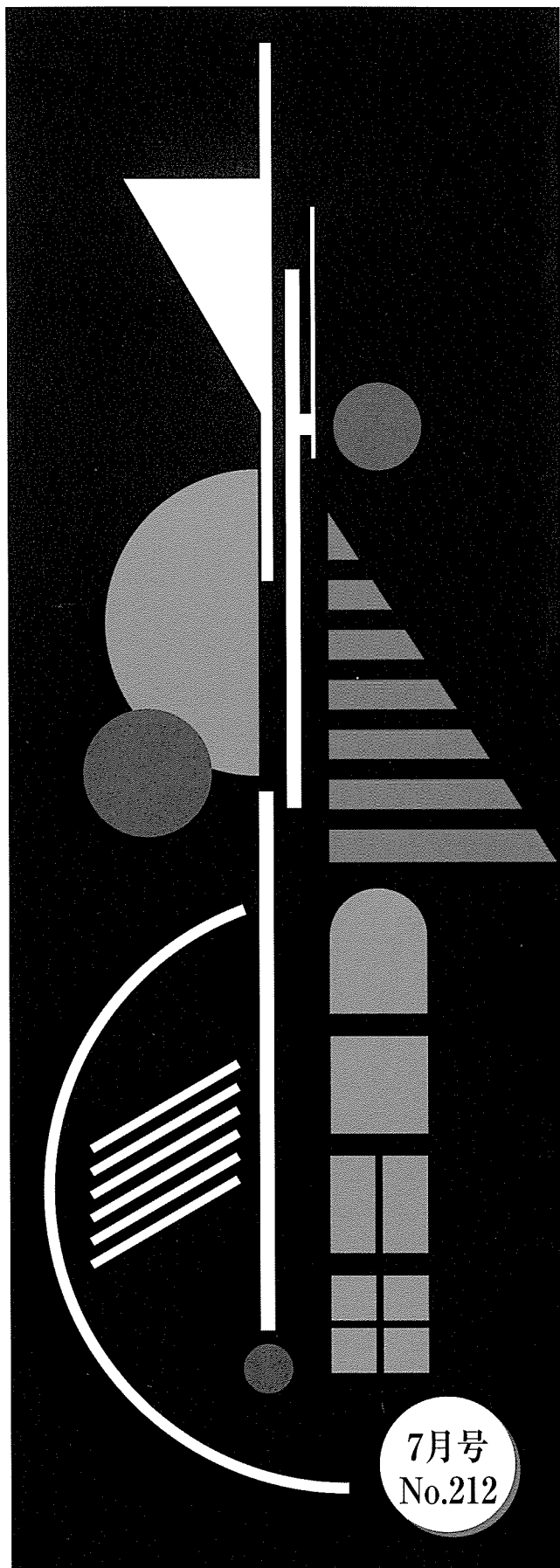
月刊

建材

ナビ

特集：ライフスタイルに応じた個性的な
ファサード空間提案で再活性化に挑む
住宅用門扉・フェンス市場

特集：豪雪被害を受けて耐積雪・耐強風高強度
タイプの開発・販売拡大につづく
住宅用カーポート市場



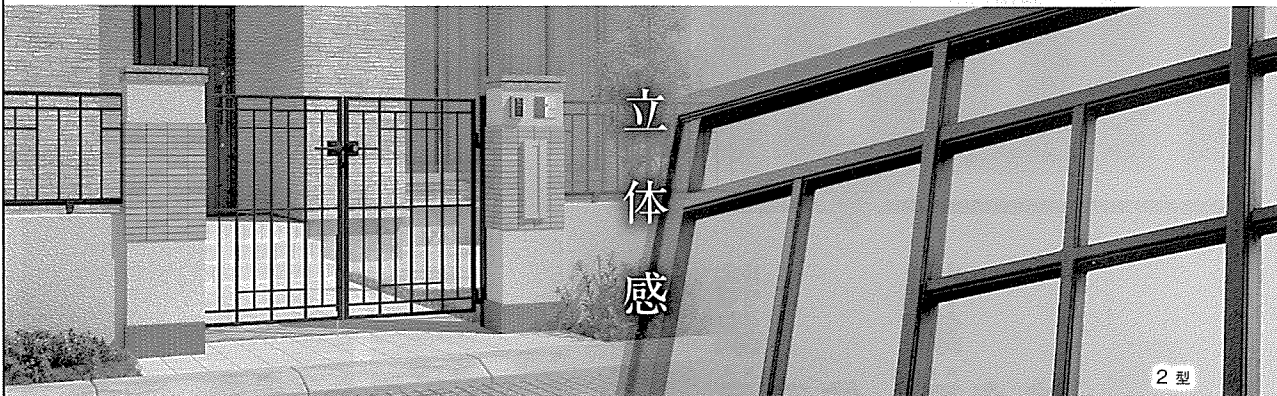
7月号
No.212

Life with Green Technology

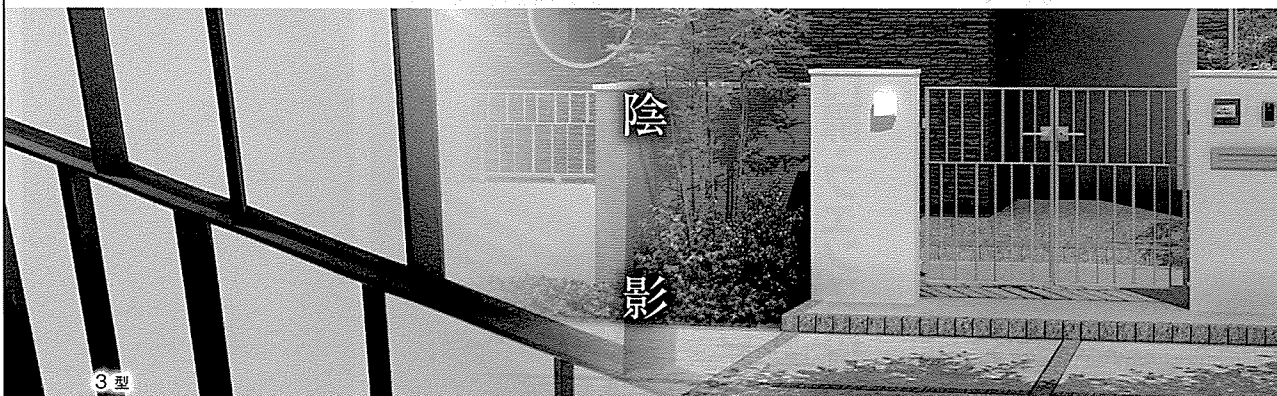
三協アルミ



1 型



2 型



3 型

鋳物門扉・鋳物フェンス

鋳物ならではの質感と、シンプルなデザインが個性を演出する

CASTYLE

キャストイル

三協立山株式会社 三協アルミ社 〒933-8610 富山県高岡市早川70 TEL.0766-20-2261

<http://alumi.st-grp.co.jp/>

折板カーポート

プロニク
For your stylish car life.

アルファ

住まいと暮らしをデザインする

3717E



■3000タイプ(耐積雪量100cm相当)/3台用(8本柱)

1
3台用で
4本柱
を実現。

3台用なのに中間に柱のない片側2本タイプを実現。ドアの開閉だってラクラク。

2
200cm相当で
6本柱
を実現。

全タイプ耐風圧強度46m/秒相当で、柱本数を減らすことを実現。

3
プラスアルファの
オプションや
機能が満載。

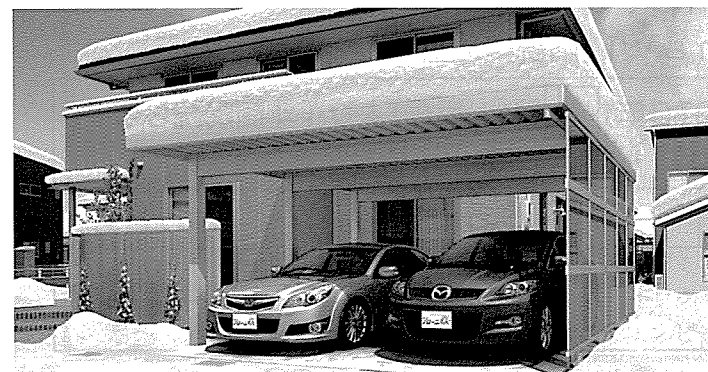
豊富なバリエーションから装飾オプションまで、カーライフを楽しむ機能が満載。

耐積雪・耐風圧・強度設計で、日本全国を守る。

業界最大
300mm

特許取得
特許第4263751号
特許第4503092号

耐風圧強度
46 m/秒
相当を達成



■6000タイプ(耐積雪量200cm相当)/2台用(6本柱)



■3000タイプ(耐積雪量100cm相当)/2台用ワイド(4本柱)



■4500タイプ(耐積雪量150cm相当)/1台用ワイド(6本柱)

Vision to Future...想像~創造へ
一歩先んずる発想

ビニフレーム工業株式会社
<http://www.vinyframe.co.jp/>
本社・工場/富山県魚津市北鬼江616番地
TEL0765-24-1032(代) FAX 0765-24-1051(代)



ミルト出版会
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87
ト-1-407号
☎042-484-4507
FAX 042-484-4509
発行人 堤 祥行
年間購読料 30,000円(送料・税込)

建材 navi 7月号-No.212 目次

- 特集** ライフスタイルに応じた個性的なファサード空間提案で再活性化に挑む住宅用門扉・フェンス市場 7
- 特集** 豪雪被害を受けて耐積雪・耐強風高強度タイプの開発・販売拡大つづく住宅用カーポート市場 9
- [環境・健康建材コーナー] 3
- [新製品・新技術情報/業界の動き] 16

© Miruto Shuppankai Ltd.2016 無断転載・コピーを禁ず

建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!

FAX: 042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

月刊「建材navi」を平成28年(2016年) 号(月号)より1年間購読します。
(年間購読料/送料・税込30,000円)

貴社名		部署		ご芳名		印
送付先				☎		
				FAX		

【環境・健康建材コーナー】

——文化シャッター・潮崎敏彦社長インタビュー——

2020年度売上高2000億円達成に自信、好調な止水製品の商品力強化、マンション耐震改修事業に着手

——新中期経営計画の2021年3月期売上高2000億円、営業利益200億円達成に向けた具体的な取り組みをお教えてください。潮崎 売上高2000億円はいけるとおもうが、営業利益率10%は高いハードルなので、その達成のために手を尽くさなければと思っている。

シャッターは、部品点数もおおく、施工力を必要とされるオーダー製品なので、薄利多売のドア事業とは違って誰もができる商売ではない。2018年をピークとする首都圏での膨大な需要を考えると、重量シャッターは利益の宝庫になる。

シャッターやドアの基幹事業は心配していないが、売上比率30%超を計画している新規分野事業に注力する必要がある。新しいことを生み出し、生産が軌道にのり、品質もある程度安定する、次に儲かるところをもっていくことは非常に難しいことだ。

例えば、黒字化したBX文化ベトナムが6年目で再び赤字になったように苦労している。リーマンショックの時には、2期連続赤字も経験した。そうしたことを乗り越えて企業は強くなるので、ベトナムはいま生みの苦しみと考えている。とにかくあきらめずにやる、我慢することが必要と感じている。

——海外事業では2020年度売上高82億円をめざしている。潮崎 現在、ハノイを製造拠

点にホーチミン、インドネシア、台北に拠点を置いている。これまで海外展開する日本のゼネコンからの物件受注で現地企業との接点はなかったが、2月にベトナムのユーロウインドウ社と業務提携し、ベトナム現地のローカル企業との取引拡大に踏み出したところだ。

日本のゼネコンはインドやミャンマーにも進出しており、人さえ確保できれば、世界一の品質を誇る日本製シャッターをアジア全域に提供していきたいと考えている。——注力事業の中でも、エコ&防災事業は2020年度防災事業40億円、エコ事業30億円と有望視されています。

潮崎 止水事業は2016年3月期前年比160%とおおきな伸びをみせている。今後ともゲリラ豪雨は激しくなることが予想されており、止水事業の更なる強化が求められている。

止水事業はまだ端緒についてばかりですが、製品自体の機能をもっと強化しなければいけない。例えば、「ラクセット」は留守宅では設置できない、もっと高齢者が扱いやすいものといった悩みを解消するには、止水製品の自動化も考える必要がある。

最初に「止めピタ」を発売した際に、店舗ドアが閉まったままでは営業できないとの声をいただき、止水機能を維持しながらドアが開けられる「ラクセット」を開発し、いまコンビニや薬の

潮崎敏彦社長



チェーン店で好評をいただいている。建物や現場ごとに異なるニーズに応えるためにも、止水製品のバリエーション化がどうしても必要になる。

——ビルリニューアル事業と住宅リフォーム事業のロングライフ事業は、2020年度170億円を目標にしている。

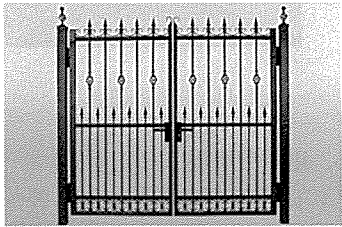
潮崎 BXゆとりフォーム事業で100億円、ビルリニューアル事業で70億円の計画。この内ビルリニューアル事業は、ビル建事業本部の中にリニューアル支店を設置した。

ビルリニューアル事業では、すでに目白の7階建てマンションの耐震改修工事を3億円で受注、6ヶ月ほどで工事を終えた。耐震改修事業はゼネコンOBを迎え入れて始めた。今後、東名阪を中心に本格的に受注活動を展開するには、施工実績を積みあげ、なにより信頼を得ることが大切だ。——防火設備の点検法制化を見据え5年間で工事員3000名体制の確立をめざしている。

潮崎 重量シャッターの点検、修理の作業員の養成には早くても3年かかる。点検作業もただ動かせばいいというものではない。不具合を見つけて修理しなければいけない。文化シャッターサービスを中心に自前で工事員を養成するほかに考えている。

アート技研工業

ヨーロッパの伝統的ロートアイアン調デザインを鍛造装飾アルミ製ガーデンエクステリア商品で実現、国内鋳物製品よりも廉価で販売



アート技研工業(芝辻栄一郎社長、姫路市飾磨区上野田2丁目28番地、TEL:079-235-7222)は、美しい装飾性で人気の高いロートアルミ・アイアン製品のガーデンエクステリア商品を、ベトナム・中国の製造協力工場から完成品出荷、かつ日本国内の鋳物製品よりも廉価な価格で日本国内向けに販売を開始した。

アート技研工業は、これまでサッシルートや建築金物ルート向けの「庇」や「ロートアルミ製品」の製造販売一筋に創立55周年を迎えた。今回、「ロートアルミ製品」で長年培ってきたノウハウ・技術力を活かし、「アート・オンリーワン・エクステリア製品」の開発とバリエーション化を進め、ガーデンエクステリア業界へ本格的に参入する。

現在の主力アイテムは、「ロートアルミ・アイアン製品」の門扉・フェンス、装飾パネル、装飾手すり、装飾面格子、ポスト、サインブラケット、プレート、ポール、花台などの多彩な外構関連商品。さらに、秋口にはカーポートやペランダテラス、デッキ材などの新アイテムも追加発売する計画だ。

文字通りミニエクステリアメーカーとして、エクステリア市場向けに、アート技研工業の「オンリーワンエクステリア製品」を提案、拡販体制を強化する。

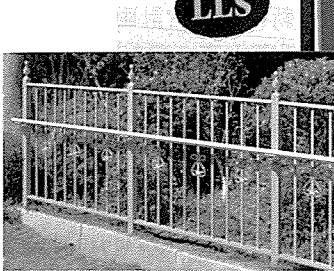
装飾剣先、鳥籠、ねじり、飾りをアルゴン溶接で美しく組立・仕上げ「ロートアルミ製品」

同社の「ロートアルミ・アイアン製品」は、ベトナムや中国の製造協力工場、ビスを1本も使わずアルゴン溶接で美しく組立、仕上げられていることが大きなセールポイント。職人技が活かされた装飾剣先、鳥籠、ねじり、装飾飾りなどによる手づくり感覚の重厚なデザイン商品で構成する。

また、サイズオーダーにも幅広く対応でき、「ロートアルミ・アイアン門扉」に高さ1400・1600・1750mmサイズを品揃えする。こうしたオーダー感覚のロートアルミ・アイアン製品にも関わらず、販売価格は日本国内鋳物製品の8割程度に抑えられており、高いコストパフォーマンスを実現したエクステリア商品といえる。

■主な商品群——◆ロートアルミ・アイアン門扉「RGN」シリーズ：高級グレードの「RG」シリーズよりも30%程度コストダウンした中級グレード。ロートアルミ・アイアン製品を象徴する装飾剣先・鳥籠・ねじりを採用した扉5デザインを品揃え。価格は「RGN011616」・両開きW1600×H1600サイズの扉・柱で29万1000円、

下フック
ダウン組立タイプ
ブコも用意する



レバーハンドル錠(打掛錠)2万1700円の設定。

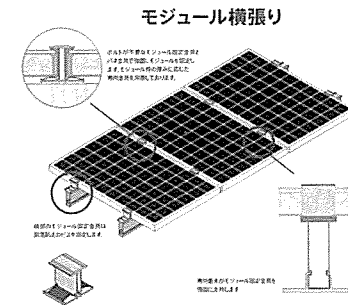
◆「ロートアルミ・アイアンフェンス」:「RFN」シリーズに豊富なデザインの装飾フェンスを用意する。◆「アルミ装飾フェンス・手摺り」の「ノックダウン組立タイプ」:現場に合わせて切り詰め加工もできる施工性に優れた「オンリーワンエクステリア製品」のひとつ。

◆「ロートアルミ・アイアンパネルRP」シリーズ:アンティークでシンプルな装飾パネルもオンリーワン製品のひとつ。◆「ロートアルミ・アイアン装飾面格子」/「ロートアルミ・アイアンサインブラケット・プレート・ポール」等。

■新アイテム——◆「景観ガラスフェンス」:強化合わせガラス11.6mm厚・透明仕様とステンレス製支柱・アルミ支柱の組み合わせた新感覚のフェンス。笠木タイプと笠木なしタイプ。◆「ハニカム目隠しフェンス」:アルミハニカム10mm厚・焼付塗装品を採用。◆「ポリカガラリ目隠しフェンス」:支柱アルミ、ポリカにホワイト・ブロンズ・グレーの3色。◆「強化合わせガラス手摺り」[アルミ形材手摺り](アルミハニカム仕様)等。

サンレール

業界初の太陽光発電パネルアルミ架台「サンレールステージ ボルトレス仕様」を新発売



サンレール(廣瀬良弘社長、TEL:0584-23-3131)は、太陽光発電パネルアルミ架台「サンレールステージ」で業界トップクラスの実績を積みあげている。今回、6月29日~7月1日の3日間、横浜市のパシフィコ横浜で開催された「PVジャパン2016」に、業界初の新商品「サンレールステージ ボルトレス仕様」(特許出願中)を出展し注目を浴びた。

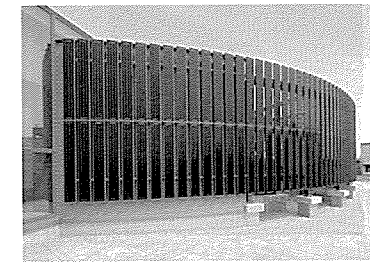
「ボルトレス仕様」は、「モジュール縦張り」「モジュール横張り」の2タイプを用意。縦張りタイプでは、ストッパー兼用の金具でバネ効果を活かしてモジュールをしっかり固定する構造。また、モジュール横張りでは、ボルトが不要なモジュール固定金具とバネ金具で強固にモジュールを固定するもの。

どちらも従来方法とは違って、モジュール表面からボルト・ナットの突起がなくなり、落ち葉や雪がモジュール表面に残りにくくなり、表面をきれいに保つ効果がある。さらに、ボルト固定の手間がなくなり工期が短縮できるほか、独自の嵌合方法により安定

した位置にモジュールを施工できることが大きなセールスポイント。ボルト固定と同等の強度を確保しており、確かな性能と施工性に加え、コストパフォーマンスを求められる産業用太陽光発電システム工事には最適なアルミ架台システムといえる。

三協アルミ

「太陽電池一体型目隠しルーバー/たて型210タイプ」新発売



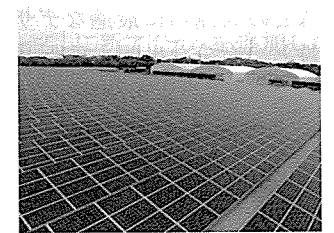
三協立山株式会社・三協アルミ社(蒲原彰三社長)は、環境対応型商品「太陽電池一体型目隠しルーバー/たて型210タイプ」を新発売した。太陽電池パネル設置角度83度(標準設置角度30度設置の約78%の発電量)の「よこ型205タイプ」につづく新商品。

特長は、ルーバーに太陽光パネルを一体化し、目隠し機能と発電機能を持たせる同時にすっきりとした外観を実現できること。屋上や階段室など平面的な場所はもちろんのこと、曲面的な部位など多様な敷地に形状に対応する。

また、太陽電池パネルの角度が90度(標準設置角度30度の約65%の発電量)に取り付けられているため、ゴミがたまりにくく、降雪地域にも適している。仕様:モジュール1枚タイプ(見付210×長さ1535mm、重量7.5kg)が最大出力38W。モジュール2枚タイプ(210×3050mm)が同76W。

LIXIL

メガソーラー発電施設「LIXIL知多SOLAR POWER」4月稼働



LIXILは、同社5カ所目のメガソーラー発電施設「LIXIL知多SOLAR POWER」を4月から稼働開始している。

知多メガソーラーは、知多工場の未活用地と第一製造棟屋根に設置したもので、太陽光電池パネル容量約5.2MW規模、想定年間発電量約6000MWh/年(一般家庭1年間の約1200世帯分)、全量を中部電力に売電される。

太陽電池モジュールは、AGC旭硝子製のシリコン系単結晶型4464枚、サンテックパワージャパン製の多結晶型1万3380枚を使用。パワーコンディショナが東芝三菱電機産業システム製500kW8台・630kW1台。施設対象面積約5万2330㎡、年間CO₂排出削減量約3000トン。

特集1: ライフスタイルに応じた個性的なファサード空間提案で再活性化に挑む住宅用門扉・フェンス市場

ガーデンエクステリア分野は、門扉・フェンスの外構商品と住宅カーポートで形成される。新設住宅着工戸数の増減に影響されるが、新設住宅の大幅な減少が予想され、リフォーム需要開拓は業界の共通テーマとして、新たな視点からの需要創出が試みられている。

具体的には、オープン外構プランや狭小地住宅への対応が重要視される。こうしたテーマに応えるために、LIXILはファサード空間向けの「メイキングアップファサード」活動を展開、四国化成がアルミシステム塀「アートウォール」、今年に入りファサード商品「エクサク」を発売、三協立山がファサードエクステリア「フィオーレ」をシリーズ化している。ファサードエクステリア商品の長は、様々なアイテムを組み合わせるライフスタイルにあった好みの空間を実現できること。新築・リフォームやオープン・クローズプランの違いに拘らず、それぞれに合ったオリジナルな外構プランの提案がある。とくに、LIXILのエクステリアライト「美彩」シリーズのように夜間の景観を演出するプランには独創性を感じさせる。ファサードエクステリアは、住宅の顔をいわれる玄関前アプローチに価値ある空間を提案するもので、住宅外壁や開口部商品とのデザインコーディネートも大切な要素になってくる。

2015年度門扉約271億円・フェンス約540億円、計約811億円と2.9%増加、ファサード空間向け新提案型商品の品揃えを進める

住宅用門扉・フェンスは、三協立山、四国化成工

業、LIXIL、YKKAPの金属系大手4社を軸に、エスビック、タカショー、東洋工業、マチダコーポレーションのエクステリア専門企業によって市場形成される。

2015年度住宅用門扉・フェンス(大手4社)の販売実績は、門扉約271億円、フェンス約540億円の合計約811億円と推定される。前年度比で門扉がほぼ横ばいの1.5%増、フェンスが3.6%増、トータル2.9%増加した。

LIXILは、門扉約160億円・フェンス約280億円、計440億円と推定される。門扉シェア59%、フェンスシェア52%と圧倒的な実績を残した。ファサードエクステリアの需要拡大をめざす「メイキングアップファサード」活動では、昨年の夜間を演出するエクステリアライト「美彩」につづき、「+G」「デザイナーズパーツ」に新アイテムを追加した。これまでファンクションユニットに限られていたオープンスタイルへの対応に、多彩なアイテムを活用したファサード空間の実現を提案する。新築・リフォームを含めた外構商品の再活性化に重点を置く。

三協立山は、門扉約59億円・フェンス約149億円、計208億円と推定される。門扉がほぼ横ばい、フェンスが6.4%増で推移した。門扉では、狭小地向けのスライド門扉「レナード」やカーテンゲート「エアリーナII」ミニタイプでの対応に実績をあげている。型式別にみても、引戸・折戸タイプの比率が比較的高い。フェンスではスチールメッシュフェンスを主力にシェア27.6%とポイントアップしたが、高機能タイプの目隠し、ルーバー、スクリーンタイプに加えて、環境配慮型商品の「S.ボーダー

門扉・フェンスメーカーの主要代理店・特約店

「建材ナビ」調べ(注)代理店は順不同

メーカー	主要代理店
三協立山	ウチダ商事、関東、マチダコーポレーション、トコナメエブコス、協栄ジェネックス、根建、トーションコーポレーション、フジクレスト、シティリード、サングリーン、岡田商事、ヒキダ建材、協和、山一商事、太田商事、ナニワエクステリア、井上定、アイシン、ダイセン工業、福島シービー、共栄商工、サネフジ、共立、東栄産業
四国化成	関東：井上定、大竹産業、関東、協栄ジェネックス、群峰工業、塚本商事機械、トコナメエブコス、フジクレスト、ユアサ商事 中部：岡田商事、サングリーン、三富、ヒキダ建材、ユアサ商事 関西：アイシン、井上定、ナニワエクスプレス、ユアサ商事、ワイズ
LIXIL	群峰工業、三富、井上定、関東、トコナメエブコス、協栄ジェネックス、Gテリア、エクシス、EXワタナベ、フジクレスト、大竹産業、エスビック、サングリーン
YKKAPエクステリア	関東、トコナメエブコス、サングリーン、グリーン、共立、エクシス、井上定、名古屋井上定、ナニワエクステリア、アイシン、フジクレスト、群峰工業、本田商会、ワイズ、テックス

「外装材・舗装材」の8部門。

応募資格はエクステリア、外装、舗装、内装の設計に携わる法人個人。四国化成の商品を使用し施工が完了していることが条件(施主の承諾を得たうえで応募)。応募全作品からグランプリ(副賞商品券30万円)、全部門からゴールド、シルバー、ブロンズを各1点選出する。詳細<http://kenzai.shikoku.co.jp/contest/contest2016/>

セイキ販売

外付けロールスクリーン「サングッドII」に大開口9尺窓対応「スクリーン2枚仕様」を新発売



セイキ販売(守谷将人社長)は、外付けロールスクリーン「サングッドII」に、リビングなどの大きな9尺窓に対応する「スクリーン2枚仕様」を7月1日発売した。

「サングッドII」は、窓の外側で熱を遮断するスクリーンで、夏場に部屋の温度上昇を抑制し、冷房効率をよくする節電・省エネ商品。従来9尺窓では2セット横ならびに設置していたが、今回1本物の収納ボックスにスクリーン2セットを収めるようにしたものの。

これにより取り付け範囲を拡大し、施工性・意匠性・使い勝手を大幅に改善する。スクリーン2枚は個別に使用・操作が可能。後付けでも簡単に施工で

きる。「壁付納まり」と壁に穴を開けない「サッシ付タイプ」を用意。そのほかにも「持ち出し金具」「バルコニー笠木取付金具」「デッキ固定金具」なども揃えている。スクリーン生地は全11色と圧倒的なカラーバリエーションを誇る。

理研軽金属工業

スパンドレルと内外装ルーバーの不燃材料認定・木目調シート仕上げ「高耐候内・外装用不燃シート仕上げ」新発売

理研軽金属工業(前田富夫社長)は、アルミ製スパンドレルと内外装ルーバーの仕上げ色として、新たに木目調シート仕上げの「高耐候内・外装用不燃シート仕上げ」(木目柄7色)をラインナップ、販売を開始した。対象商品は、「スパンドレル9型」と「内外装ルーバー70型」。

新発売の「高耐候内・外装用不燃シート仕上げ」は、アルミ型材に耐候性に優れたオレフィンシートを被覆したもの。国土交通省の不燃材料認定を取得しており、意匠性だけではなく、不特定多数の人が使用する屋内など内装制限が適用される部位での使用も可能。

2007年に3色のラインナップでスタートした木目調シート仕上げは、意匠材としての人気も高く、今回ホワイト系からダーク系まで木目柄7色に充実させた。また、屋内と屋外に使用でき、屋内外の連続したデザインニーズにも対応する。駅舎や学校などの公共建築物、オフィス、マンション、商業施設などを中心に提案活動を展開する。

YKK AP

最大出幅1200mmのひさし「コンバイザー」アームスタイル新発売

YKK APは、開口部の雨よけ・日よけ対策として、「コンバイザー」アームスタイルし、ラインアップを拡充した。



新商品の「コンバイザー」アームスタイルは、玄関部分やテラス窓などの大開口に最適なデザイン性と、十分な出幅を確保した豊富なサイズ設定が特長。

従来の後付けひさしの最大出幅600mmを上吊り構造の採用で1200mmまで拡充した。軒天パネルカラーはプラチナステン、木調4色の計5色。前面で集水・側面から排水する構造。耐積雪50cm相当に対応。直線・横連結片(両)入隅納まり。

四国化成工業

「空間デザインコンテスト」作品募集中、応募締切8月10日(水)

四国化成工業(玉城邦男社長・CEO)は、「空間デザインコンテスト」の作品を募集中。応募締切りは8月10日(水)。

応募部門は、住宅/景観エクステリア分野のA「アートウォール」、住宅エクステリア分野のB「車庫まわり」、C「門・塀まわり」、D「庭まわり」、景観エクステリア分野のE「大型門扉・フェンス」、F「公共空間」、内装材・外装材・舗装材分野のG「内装材」、H

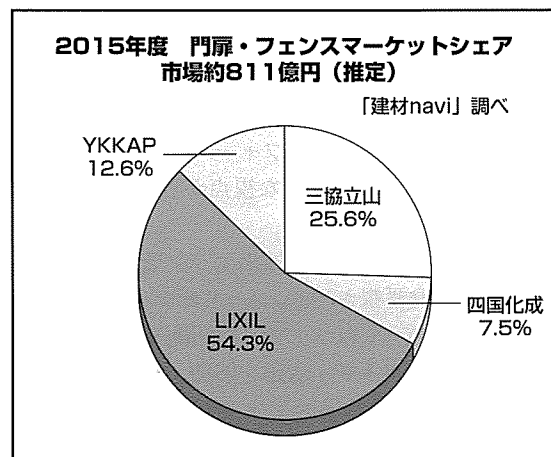
UCHI-MIZU」などを投入し、選択肢を広げている。

YKKAPは、門扉約26億円・フェンス約76億円、計約102億円と推定される。前年度比9.6%増と高い伸びを示した。建築・玄関ドア・エクステリアの3つのデザインを融合し、統一感のある住宅外観の演出をコンセプトに、オープンスタイルからクローズスタイルまでトータルに対応する外構商品のバリエーション化を図っている。主力商品「ルシアシリーズ」のアイテムを強化するとともに、新たな高級型材「エクステアラ」シリーズ、革新的なデザインを採用したアルミ鋳物「シャローネ」シリーズを新発売し、商品構成を充実させた。その中でも、玄関ドアで高い普及率を誇る門扉の電気錠システムがどこまで浸透するか注目される。

四国化成工業は、門扉約26億円・フェンス約35億円、計約61億円と推定される。景観エクステリアのトップメーカーとして培った高度なデザイン力・商品開発力を盛り込んだ、第3の扉・アルミシステム扉「アートウォール」で新たな外構スタイルを提案、浸透を進めている。これにつづき、オープン外構のファサードをトータルに演出する、線で仕切る新発想ファサード「エクサク」シリーズを新開発、発売した。オープンプランへの対応商品として、ゲート、ポール、スクリーンパネル、門柱、枕木などのアイテムを品揃えする。門扉の中でも機能門柱・ポールなどの販売比率が比較的高かったが、「エクサク」シリーズで自由な発想の外構づくりがさらに拡大するとおもわれる。

開きタイプ(構成比40.9%)、伸縮タイプ(26.2%)と増加、狭小地向けに伸縮タイプ、引戸タイプが拡大

門扉・フェンスの販売傾向をみる。門扉の型式別販売割合は、開きタイプ約111億円(構成比40.9%)、伸縮タイプ約71億円(26.2%)、機能門柱・ポール・その他約38億円(14.2%)、跳ね上げタイプ約29億円(10.6%)、引戸・折戸タイプ約22億円(8.1%)。前年実績と比較して、伸縮タイプが2ポイントアップ、開きタイプがほぼ横ばいで推移した。引戸・折戸タイプ、機能門柱・ポール・その他は前年実績を下まわった。伸縮タイプは、スライド門扉と同じように狭小地向けに増加したと推測される。



グレード別には、普及品(10万円)60%~70%、中級品(20万円)30%~40%、高級品(30万円以上)3%~10%の販売比率がおおく見受けられる。三協立山、LIXILが中級品、高級品の販売を拡大しつつあることが特徴。こうした高機能化・高付加価値化による売上高の拡大、リフォーム需要の獲得が依然として業界の共通テーマといわれる。

スチールメッシュフェンス、販売の30%強を堅持、快適な住まい方を実現する環境配慮型フェンスに注目

一方、門扉・フェンスの材質別販売割合をみると、アルミ型材約596億円(構成比73.5%)、スチール・ステンレス約169億円(20.8%)、アルミ鋳物約24億5000万円(3.0%)、アルミ樹脂・木複合約22億円(2.7%)と、アルミ型材が拡大した。スチールがポイントを落しているが、メッシュフェンスはフェンス全体の30%強を占める定番商品であることは変わらない。

アルミ鋳物の低迷が続いている。シンプル&モダン系スタイルの流行が、個性的な意匠をセールスポイントにするアルミ鋳物製品離れの一因と思われる。今後、オリジナルデザインを求める注文住宅を中心にした中高級ゾーン向けに採用増が期待される。

さらにフェンスでは、目隠しタイプやスクリーンタイプ、採光・通風・防風機能をもつルーバータイプ、

最近では環境配慮型の複合タイプなどの用途に応じた多彩なフェンスが商品化されている。単なる境

界フェンスとしてではなく、快適な住まい方を実現する機能型フェンスの拡大に力が注がれつつある。

特集2: 豪雪被害を受けて耐積雪・耐強風高強度タイプの開発・販売拡大つづく住宅用カーポート市場

住宅用カーポート市場は、都市部の車離れや狭小地住宅の増加にともなうカーポート取付率の低下に、どのように対応するかが業界共通のテーマとされる。地方都市では車が必需品であり、一家で複数台を所有していることが珍しくなく、2台・3台駐車用カーポートが当たり前になっている。カーポート取付率の低下は、大都市部が抱える問題といえる。

都市型住宅におけるカーポートを考えると、敷地に余裕のある住宅であれば本格的なガレージが設置される。敷地が限られた戸建住宅のエクステリアプランにおいて、カーポート専用スペースを確保することに難しさがある。30歳代の住宅一次取得者は、家族構成からもほとんど車1台を所有している。ただし限られた敷地に存在感を主張するカーポートの設置を敬遠する傾向もみられる。

その意味では、カーポートも住宅ファサードのエクステリアプランの中で活用を考える必要がありそうだ。すでにファサード空間提案に示されている玄関アプローチとデザインコーディネートされたカーポート、あるいは門扉を含めたトータルなファサード空間づくりの1アイテムとして組み込まれたカーポートなど、空間有効活用型のカーポートの動向が注目される。

2015年度住宅用カーポート販売高約473億円と、前年度比5.6%減少 豪雪被害に伴う取替え需要が収束

住宅用カーポートは、三協立山、四国化成工業、ビニフレーム工業、LIXIL、YKKAPを中心に市場形成されている。そのほかにもオーダーメーカーやスチール系ガレージメーカー、最近では太陽光発電パネル搭載型カーポートメーカーなども参入する。

2015年度住宅用カーポート販売高(5社)は、約474億円と前年度比5.4%減少した。大雪被害による取替え需要が収束し、通常ベースに戻ったと見られており、ふたたび400億円台に逆戻りした。

メーカー別にみると、LIXILは約205億円と200億円の大台をキープし、シェア43.3%にアップした。大雪被害の状況をみて、カーポートの高強度化を進めている。新スタンダードカーポート「フーゴ」シリーズは、耐風圧強度42m/s相当を標準仕様を採用した。「フーゴ900」は、耐積雪30cm相当を最低基準にしている。販売傾向をみても、耐強風タイプが全体の82%、耐積雪タイプが同じく32%を占めている。折板タイプは、販売体の24%に達している。

YKKAPは約126億円と、豪雪需要の反動で減少に見舞われた。高強度カーポートのバリエーション化を進めているが、耐強風タイプが販売全体の27.5%、耐積雪タイプが22%を占めている。折板タイプは22%と高いレベルにある。両側支持タイプも全体の45%を占めることも特長。高強度とデザイン性を両立させた耐積雪50cm相当・耐風圧強度46m/s相当の4本柱「エフルージュワン50」「エフルージュツイン50」などの拡販に取り組む。

三協立山は約117億円と推定される。普及品の「カムフィNex」(25万円)を主力商品に展開する。耐積雪・耐強風を兼ね備えた高強度カーポートは、販売全体の13%を占める。折板タイプは、全体の13%と徐々に拡大している。軽快なフラット屋根形状の普及品「ニューマイリッシュ」、独得な屋根スタイルを採用した高級品「エアロシェード」を新たに発売しバリエーションを強化、カーポートの販売拡大に力をそそぐ。

四国化成工業は約15億円と推定される。主力

商品は、片側支持・アール屋根の「バリューポート」(30万円)。耐積雪20・30・50・100・150・200cm相当、耐強風34・38・46・54m/s相当の豊富なバリエーションを展開する。高強度カーポートの代表格である折板カーポート「レジスポートSG」は、耐積雪200cm相当・耐強風54m/s相当も品揃えする。折板タイプは、販売全体の14%を占める。カーポートのスタイルを一新した「マイポート」シリーズの上吊りタイプが、販売全体の39%を占めていることも大きな特徴。

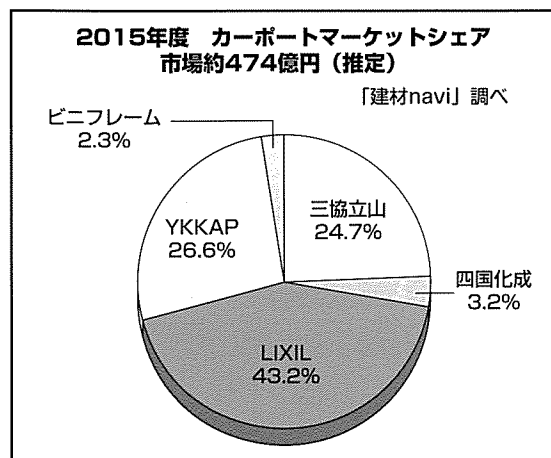
ビニフレーム工業は約11億円と推定される。大手メーカーが市場を独占する中で、業界最強の折板カーポート「ブローニα」シリーズを主力商品に住宅カーポート市場の一角を形成する。全タイプが耐風圧強度V0=46cm/s相当仕様であるほか、耐積雪200cm相当・2台用を6本柱で実現した群を抜く耐積雪強度がセールスポイント。ポリカーボネート製フラット屋根形状の「ブローニブライト」も、耐積雪50cm・耐風圧強度V0=38m/s相当を標準仕様に設定する。販売全体の9割が2台・3台用タイプ。積雪地域の北陸、東北を中心に展開するが、最近では台風通過地域の九州にも浸透を強めている。

ポリカーボネート屋根・片側支持の一般地域向けが主力タイプ、高強度折板カーポートも拡大づく

カーポートの売れ筋商品は、ポリカーボネート屋根・片側支持タイプ・価格20万円台(1台用)の一般地域向けが半数を超える。カーポートは、屋根形状によってデザイン性が左右される。主力商品は依然としてアール屋根タイプであるが、最新住宅スタイルに対応したフラット屋根タイプ(三協立山)や上吊り屋根タイプ(四国化成工業)が増加しつつある。

こうしたデザイン性と強度性能の両立は、カーポート開発における基本的なテーマとされる。最近の豪雪・暴風被害の多発にともない、高強度カーポートが増え始めている。その代表格が、フラット屋根形状で耐積雪・耐強風性能に優れた折板カーポートである。住宅用カーポートの20%台に達している。ポリカーボネート製カーポートも、耐風圧強度42m/s相当・耐積雪30cm相当を標準仕様に設定した高強度タイプの品揃えが進められている。

車の出し入れを考えると、両側支持タイプよりも片



側支持タイプのほうが向いている。デザイン的にも片側支持タイプの設計自由度が高い。また、1台駐車用と2台・3台駐車用では、強度面からデザイン性も違って来る。強度重視か意匠重視かその両立か、多様化するユーザー志向への対応を迫られそうだ。

三協立山

サッシと外構商品とのトータルコーディネートできる新色「アースブラウン」をエクステリア商品に展開

【新商品】■門まわり・フェンス——◆鋳物門扉・フェンス「キャストスタイル」(直線基調のシンプルなスタイルに鋳物ならではの質感で個性を演出する新鋳物シリーズ。ロートアイアン調の剣先・ツイスト・バスケット・ギボシを象った1型など3デザイン。蓄光樹脂・ディンプル錠、着脱式ツマミサムターンを採用した打掛け錠・レバーハンドル錠。フェンスは、フリー支柱、間仕切り支柱の設定、独立フェンスや門扉と同じ高さサイズでコーディネートにも対応。サイズバリエーション400・600・1000・1200・1400・1600mm。◆「電気錠付き門扉」(新築・リフォーム。1つのエントリキーで門扉・玄関ドアの施錠操作が可能。オプションで室内用リモコンによる施錠操作。リフレア・マイリッシュA・コレット・エクモアXに適用)。

◆ファサードエクステリア「フィオーレ」(ブロック塀をドレスアップするデザイン笠木や鋳物スクリーン、フェンスタイプH600を追加)。◆フェンス「S.ボーダー UCHI-MIZU」(発泡セラミックの保水ルーバー

を採用した環境配慮型フェンス)。◆歩行者補助手すり「エトランボS」(玄関アプローチ用手すり。笠木径φ34を追加)。

■車庫まわり——◆カーポート「エアロシェード」(存在感のある独特の屋根形状を採用した新スタイルの後方支持式3台用カーポート)。◆カーポート「ニューマイリッシュ」(従来品を形材屋根枠と木調屋根枠のデザイン統一など軽快でモダンな印象にリファイン。通常勾配・逆勾配タイプ。屋根パネルにポリカーボネート板・ポリカーボネート板かすみ調・熱線遮断ポリカーボネート板・熱線遮断FRP板等)。◆カーテンゲート「エアリーナII」(ノンキャスタータイプ。片開き最大幅4.3m/両開き最大幅8.6m。最大W1.4m×H12・10のミニタイプ)。

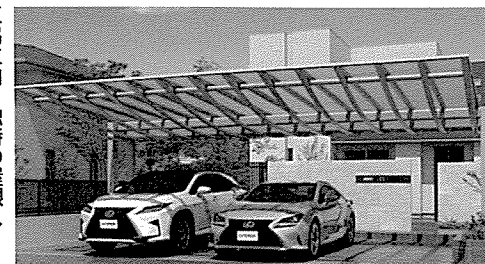
【最近の動き】1棟全体のエクステリア需要拡大をはかるために、ファサード、車庫、ガーデン、ウォールの各分野向けイノベーション商品拡充に力を注いでいる。住宅開口部商品とデザインコーディネートを強めるために、新たなナチュラルスタイルを提案する新色「アースブラウン」をエクステリアにも展開した。新色「アースブラウン」は昨年10月発売の新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」にも採用されており、最近人気のアイボリーやホワイト系の明るい外壁色のアクセントカラーとして期待される。

外構商品では、新玄関ドア「ファノーバ」とのコーディネートも可能なファサードエクステリア「フィオーレ」、新鋳物門扉・フェンス「キャストスタイル」シリーズ、建物前庭で圧倒的な存在感を誇示する新型カーポート「エアロシェード」、環境配慮型ルーバースクリーンを採用したS.ボーダーシリーズ「UCHI-MIZU」を投入した。同時に、狭小地住宅向けのスライド門扉「レナード」、カーテンゲート「エアリーナII」ミニタイプなどで対応を強化している。

一方、カーポートでは、ファサード空間向けの「エアロシェード」、ボリュームゾーン向けの「ニューマイリッシュ」を投入し、バリエーションを強化した。

■門まわり商品の販売傾向——門扉売上高はほぼ横ばいで推移した。売れ筋商品：両開き0712サイズ、10万~14万円が形材門扉全体の約60%を占める。グレード別：普及品(10万円)58%、中級品(15万円)39%、高級品(20万円以上)3%の販売比率。型式別：開き38%、伸縮28%、引戸・折戸12%、跳ね上げ12%、アーチ・門柱・その他

三協立山：独特の屋根スタイル「エアロシェード」



10%の販売比率。

また、フェンスは前年比約7%増を示した。目隠し、ルーバー、スクリーンの高付加価値タイプが好調に推移していることが特長。

■カーポート——売れ筋商品：「カムフィンEx」シリーズが販売全体の約27%を占める。耐強風タイプ・耐積雪タイプは5タイプを用意し、販売全体の約11%に達する。また、屋根デザイン：上吊り4%、アール52%、フラット31%、折板13%の比率。タイプ別：片側支持74%、両側支持26%の販売比率。門扉・フェンス/カーポートの地域圏別には、北海道・東北圏7%、関東・甲信越圏32%、中部・北陸圏30%、近畿圏15%、中国・四国圏10%、九州圏6%の比率と、関東・甲信越圏、中部・北陸圏を主体に展開する。

四国化成工業

狭小住宅に対応し新発想ファサード「エクサク」発売、第3の塀「アートウォール」と共に価値ある空間実現

【新商品】■外構——◆「線」で仕切る新発想ファサード「エクサク」：オープン外構の境界線をトータルに演出する新シリーズ。「線」で仕切る新発想ファサード「エクサク」とコラボレートさせることで、ファサードデザインの幅を一段と広げることができる。アイテム：ゲート(アルミ・ガラス・タイル3色の支柱3デザイン。オプションにLED照明3色。縦格子・ファンクションパネル・FIXパネルを用意)。飾り柱「ポール」(ゲートとポールと同一デザインの「機能門柱」など3タイプ)。そのほかにも「スクリーンパネル」「枕木」などを取り揃える。各種パーツが規格化され施工性を高めているほか、開放的な空間と美観形成の両立をはかり、住まいの顔のグレードアップを実現する。

◆アルミシステム塀「アートウォール」(安全性・施



四国化成：新発想ファサード「エクサク」、夜間に美しく浮かぶ照明の光のゲート

工性・意匠性をポイントにした第3の扉提案。自由なデザインと意匠バリエーションが豊富な「seed」にパネル3サイズ・真壁化粧材・巾木・ローラー仕上げを追加。短工期・大面積に適した「modern」に大型門扉・引戸の袖壁のセットタイプを追加。

◆機能門柱「ファミリー門柱1型」(1世帯・2世帯用の宅配ボックス付門柱を追加)「マイ門柱3型/4型」を追加。◆壁掛けポスト「アルメールWF6型」/大容量ポスト「アルメールKH2型」。◆「表札」(機能門柱対応のステンレス製・アクリル+ステンレス製・タイル+ステンレス製などを追加)。

■カーポート——◆積雪対応カーポート「フェアポート」(耐積雪強度50・100cm対応。シャッター付きタイプ50cm対応のみ。耐風圧強度=風速42・46m相当)。◆「スマートポートHG」(積雪仕様に片側支持900N/m²タイプを追加)。スタンダードカーポート「バリューポート」(熱線吸収ポリカーボネート板を追加)。

【最近の動き】エクステリアプランの狭小化やオープン外構の増加とともに、普及・中級タイプの機能門柱への需要が高まっている。デザインに優れ、手頃な価格の機能門柱は、今後の住宅の必需品との見方。

同時に、新発想ファサード「エクサク」やアルミシステム扉「アートウォール」は、都市部におおい狭小化プランにおいても、敷地境界を主張し一定の安全性を担保するとともに、住宅ファサードに価値ある空間を創造する重点商品として拡販に乗り出している。

フェンスも、アルミ型材フェンスやスチールメッシュフェンスなど普及タイプの採用事例がおおい。その一方、中高級の目かくしタイプや木調タイプ、さらに高強度タイプも堅調な動きをみせているようだ。カーポートでは、オリジナル性に優れたデザインカー

ポート「マイポート」シリーズと、普及タイプの「バリューポート」を2本柱に展開する。

■門まわり——門扉売れ筋タイプは、0812サイズ・両開き仕様がおおい。グレード別には、普及品(10万円)85%、中級品(30万円)10%、高級品(70万円)5%の販売比率。型式別には、開き29%、伸縮31%、引戸4%、跳ね上げ2%、アーチ・門柱・その他34%と、伸縮タイプの強さとオープン外構プランに対応した機能門柱の増加が特徴。

門扉・フェンスの材質別は、型材76%、アルミ鋳物4%、スチール・ステンレス11%、アルミ樹脂複合9%の割合。数字には表れないが、シコクオリジナルの塗り壁材を活用したデザイン商品づくりもセールスポイントといえる。

■カーポート——売れ筋商品は、片側支持タイプ・アール屋根・価格30万円の「バリューポート」で、販売全体の15%を占める。また、耐強風・耐積雪タイプでは、「レジスポートSG」が、販売全体の15%を占めた。屋根デザインは、上吊りタイプ39%、アールタイプ29%、フラットタイプ18%、折板タイプ14%と、上吊りタイプの人気が高い。さらに、タイプ別には片側支持32%、両側支持46%、2台・3台・ガレージタイプ22%。2台用・3台用の採用の拡大が進んでいる。

門扉・フェンス/カーポートの地域圏別販売割合は、北海道・東北圏10%、関東・甲信越圏42%、中部・北陸圏10%、近畿圏15%、中国・四国圏15%、九州圏8%の割合。他社に比べて地元の中国・四国圏の販売比率が高い。

ビニフレーム工業

耐積雪量200cmを2台用6本柱で実現した折板カーポート「ブローニα」、台風通過地域にも浸透を強化

【カーポート】■折板カーポート「ブローニα」シリーズ——◆特長：耐積雪量の荷重が継続しても耐えられる長期荷重設計を採用しているため、急な積雪にも余裕をもって対応できる業界最強度の折板カーポートシリーズ。

これまでの常識を打ち破る2台用6本柱仕様で耐積雪量200cm相当を実現すると同時に、台風時の揺れや吹上げにも強く、強風被害を防ぐ耐風圧強度V0=46m/秒相当をシリーズ全商品で達

成している。一般的には6本柱・積雪量100cm相当、8本柱・積雪量150cm相当が限界といわれる。さらに、大地震に対しても崩壊しないように、標準せん断力係数C₀=1.0以上の強度設計を採用。

強度とデザイン性を合わせ持つ桁構造は、業界最大高さ300mm(特許取得)をはじめ260mm・220mm・170mmの4種類。柱は角柱(115×115mm・130×130mm・140×140mm)と丸柱(φ170)の2デザイン。カラーバリエーション：ツヤ消しブラック・アーバングレー・ツヤ消しシルバーの3色。オプション：スクリーン用格子「グレイスライト」(11色)/横梁セット/タイヤラック/側面パネル/化粧パネルなどを用意。

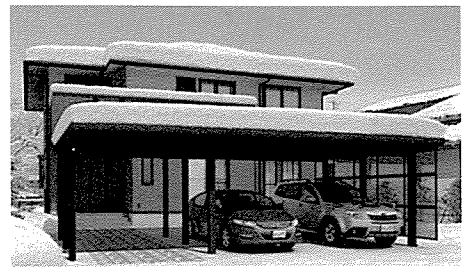
◆主な商品群——◇耐積雪量50cm(1500N/m²)タイプ：4本柱1台・2台・3台用等。◇同100cm(3000N/m²)タイプ：4本柱1台・2台用、6本柱3台用連結、8本柱3台用等。◇同150cm(4500N/m²)：6本柱1台・2台用、9本柱3台用連結等。◇同200cm(6000N/m²)：6本柱1台・2台用、8本柱2台用ワイド、9本柱3台用連結等。

■住宅用カーポート「ブローニBright(ブライト)」——◆特長：熱線吸収ポリカーボネート板を採用したフラット屋根・4本柱タイプのシンプルなフォルム。屋根下から見上げた際のフラットな屋根パネルのスタイリッシュなデザインもセールスポイント。垂木と垂木カバーの幅60mm、屋根パネルのみ込み幅25mmに設定し、垂木に垂木カバーを引っ掛けることで高強度を確保する構造。耐積雪量50cm・耐風圧強度V0=38m/秒相当(パネルサポート使用時V0=42m/秒相当)。カラーがアーバングレーとツヤ消しシルバーの2色。4本柱・1台用・1台用ワイド・2台用のバリエーション。

【最近の動き】業界最強度の折板カーポート「ブローニα」シリーズと、4本柱・熱線吸収ポリカーボネート板屋根カーポート「ブローニBright(ブライト)」シリーズを主力商品に全国展開する。

折板カーポート「ブローニα」は、3台用4本柱(耐積雪量50cm)、2台用6本柱(耐積雪量200cm)を実現した高強度と、フラットな屋根形状の美しいフォルムを兼ね備えていることがセールスポイント。また、全タイプが耐風圧強度V0=46m/秒相当仕様で、これまでの積雪地域だけでなく、台風通過地域などにも市場を拡大した。

ビニフレーム：業界最強度の折板カーポートとして浸透をよめる「ブローニα」



販売傾向をみると、折板カーポートが販売全体の93%を占める。耐積雪100cm・2台用折板カーポートが売れ筋タイプで65%を占めている。

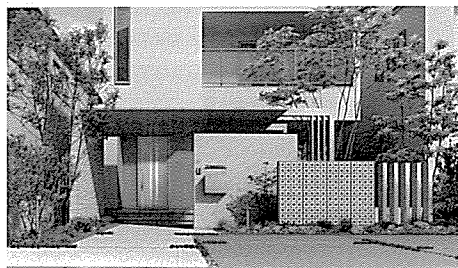
また、都市部に多い1台用ではなく、2台用・3台用の販売比率が90%に達していることも大きな特徴。地域圏別には、中部・北陸圏40%、北海道・東北圏30%を主力マーケットに、関東・甲信越圏15%、九州圏10%、中国・四国圏3%、近畿圏2%の販売比率。

LIXIL

「メイキングアップファサード」——「美彩」につづく「+G」「デザイナーズパーツ」アイテム追加で提案力アップ

【新商品】■「メイキングアップファサード」提案——◆「Gルーフポイントルーフタイプ」(厚さ40mmのアルミ樹脂複合板+アルミ板+押出発泡ポリスチレン+ラッピング材のスリムでフラットなルーフ)。◆「デザイナーズパーツウォールスクリーン」(木目調と石目調の4色)/「デザイナーズボード」(コンクリートブロックにも取付可能な軽量のアルミ樹脂複合板)/「デザイナーズパーツアレンジフレーム」(異なる形状のフレーム、柱、中棧を自由にアレンジし、ファサード空間にアクセントをつくる)。

■ファンクションユニット——◆「ウォールスクリーンファンクション門袖」(基本タイプ・フレームタイプ)/「デザイナーズパーツ有孔ブロックウォール」(ポスト・サインの取付、インターホン内蔵可能)/デザインウォール「テグランNeo」(接着剤張りタイル工法を取り入れた乾式構造)。◆「ネクストポストL-1型」(電子錠搭載新型モデル。フラットなタッチパネル、ポスト内LED照明内蔵。壁付け・ポール建て・ファンクションの各タイプ)。■エクステリアライト——◆「美彩(Bisai)シリーズ」(間接照明の“面のあかり”に、拡散照明の“点の明かり”を



リーノール・「Gポイント」
「プラスG」デザインパーツ
ウォールスクリーンの組合せ

プラスした住宅の夜間景観を魅力的に変える照明プランニング。7種30機種を追加。

■スマートエクステリア（スマートフォンで映像確認・通話・通知受け取りができ、配線工事、定額費用が不要なエクステリアのホームネットワークシステム）——◆構成：ホームユニット・屋内カメラ・屋外カメラ・カーポートカメラセット。◆宅配ボックス「リンクスボックス」（ポール建てタイプ・壁埋め込みタイプ。ホームユニットにつなげて、スマートフォンで荷受けの確認がどこでもできる）。

■カーポート——◆ニュースタンダード「フーゴ」（耐風圧強度42m/秒相当を標準化。屋根形状にアール・フラット・アーチの3スタイル。「フーゴ900」（耐積雪強度30cm相当。サポート柱使用時耐積雪40cm相当・耐風圧46m/秒相当）。

【最近の動き】エクステリアのファサード市場の活性化させる「メイキングアップファサード」活動を強化している。住宅の夜間景観を変える「美彩シリーズ」につづき、屋根を備えた重厚感のある門まわりを演出する「プラスG」アイテムと、各種「デザイナーズパーツ」を組み合わせた機能美と施工性に配慮したファサードエクステリア商品を充実させている。

新開発のホームネットワークシステム「スマートエクステリア」は、スマートフォンを通じて住宅の安心・安全、利便性を高めるシステムであり、今後の新たなエクステリア商品の登場を予想させる。すでに住宅玄関ドアと同一のデザイン、電気錠システム搭載などによるコーディネート化が進められているが、ユーザーの個性的なエクステリアプランを実現するような設計自由度の高い多彩なアイテムの開発・提案活動を強化している。

一方、カーポートでは、耐風圧強度42m/秒相当をスタンダードした「フーゴ」シリーズを投入した。「フーゴ900」は、耐積雪強度30cm相当、サポ-

ート柱使用時耐積雪40cm相当・耐風圧46m/秒相当の高強度タイプ。これらカーポートの高性能・高強度化を通じて、市場全体の底上げを図っている。

■門まわり商品の販売傾向——門扉のグレード別販売割合は、「プレスタ」を主力にした普及品（10万円台）60%、「ジオーナ」に代表される中級品（18万円超）30%、高級品（40万円超）10%の比率。中高級品の販売拡大に力を注いでいる。型式別には、開き43%、伸縮26%、引戸・折戸8%、跳ね上げ12%、アーチ・門柱・その他11%と、伸縮タイプの比率が高まった。

門扉・フェンス材質別販売は、型材70%、スチール・ステンレス25%弱、アルミ鋳物3%強、アルミ樹脂複合2%強と、型材門扉、スチールメッシュを主力商品に展開する。

■カーポートの販売傾向——新スタンダードカーポート「フーゴ」、意匠性と使いやすさを向上させた「ネスカ」の両シリーズを軸に展開する。屋根スタイルは、アール59%、フラット17%、折板24%と大きな変化はない。「フーゴ」に新形状のアーチスタイルを追加しデザインバリエーションを強化した。

タイプ別には、片側支持62%、両側支持36%、ガレージ2%の販売割合。「フーゴ」シリーズの狙いでもある高強度カーポートは、耐強風タイプ82%、耐積雪タイプ32%と着実に販売比率をアップしている。その中でも耐積雪30・50・150・200cm相当を品揃えする積雪タイプの伸びが目立つ。

門扉・フェン、カーポートの地域圏別販売割合は、北海道・東北圏9%、関東・甲信越圏39%、中部・北陸圏17%、近畿圏18%、中国・四国圏7%、九州圏10%の比率。

YKK AP

「エクステリア」のアーチ・門扉・カーポート、革新的なデザインの鋳物シリーズ「シャローネ」新発売

【新商品】■外構商品——◆「エクステリアアーチ」（施工の簡略化とデザイン性を両立させた「ビルトインポスト」、意匠性と透過性に優れた「たて格子・マットパネル」を追加）。◆「エクステリア門扉」（エグゼウス門扉をリニューアル。たて格子・たてスリット・井桁格子・ランダム横板格子・プレーンの5デザイン。木調色を充実。家屋側サムターン仕様、ピタットK

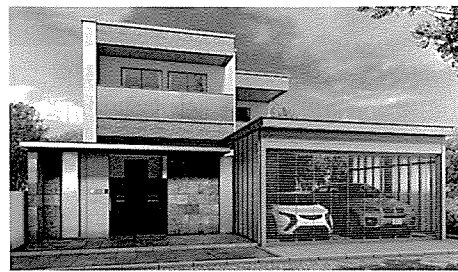
eyシステムの電気錠・共用門扉に対応）。◆「シャローネ門扉」（高級感を感じさせる重厚で革新的な鋳物門扉4デザイン。外部からサムターンを操作させない格子間ピッチデザイン。H1800mmの高尺サイズ。ピタットKey電気錠で玄関ドアとの同一キー化を実現）。◆「ルシアススライド」（ノンレール引戸門扉を追加。玄関ドアとコーディネートしやすい6デザイン。最大有効開口幅1250mm実現。H1600mmサイズ対応。ロングバーハンドル採用）。

◆「シャローネフェンス」（汎用性に優れたシンプルでスタイリッシュな格子デザイン。スライド自由柱・フィックス・高尺サイズ等）。◆「ルシアスフェンスLite」（シンプルモダンフェンスLiteをリニューアル。笠木に木調カラー4色）。◆「ルシアススクリーンフェンス」（片面木調タイプの横目隠しデザイン追加。ルーバーデザインにアルミカラー2色を追加。たて格子デザインに格子付きコーナー継手を追加）。◆「シンプレオポストユニット1型/エクステリアポストT13型」（業界屈指の価格設定。LED照明付きタイプ・照明なしタイプ。ポスト4種・表札15種から選択可能）。◆「シャローネアップゲート01型」（高級感と堅牢性を兼ね備えた細やかな格子ピッチを採用。パネル組立完成品出荷）。

■カーポート——◆「エクステリアカーポート」（機能性とデザイン性を兼ね備えたハイエンドモデル。シャッターなしタイプの有効高さ2415・2972mm、有効開口2820・5295・5625mm。シャッター付きタイプの有効高さ2415mm、有効開口2820・5295・5625mm）。◆「エフルージュシリーズ50/100/150」（高強度と採光性、デザイン性を兼ね備えた豪雪地帯向けポリカ屋根カーポート。カラーバリエーション8色。積雪50cm（4本柱）・100cm（6本柱、3台用8本）・150cm（8本柱）。◆「エフルージュシリーズ/ジーポートneo/レオンポートneo」（カーポートを中心に外構一式提案商品。機能柱にインターホン加工あり/なし、ポスト付き/なし。スクリーンにたて格子デザイン8色。木調アタッチメント4色）。

【最近の動き】住宅のアプローチ空間や外構まわりをトータルにデザインするエクステリア商品「ルシアス」シリーズで、グッドデザイン賞を受賞した。オープン外構からクローズ外構プランに対応し、玄関ドアとデザインコーディネートできる門扉、機能ポール、門袖ユニットにつづき、ノンレール引戸、

YKK AP「エクステリア」門扉・アーチ・カーポートのコーディネート例



スクリーンフェンスを追加した。

外構商品の更なる高付加価値化を追求する高級型材門扉「エクステリアラ」、鋳物門扉「シャローネ」の各シリーズを発売した。また、オープン外構プランに対応する「シンプレオポストユニット1型」、狭小地住宅向けに「ルシアススライド」を追加するなど、外構商品の充実を進めている。

■門まわり商品の販売傾向——門扉売れ筋商品：親子開き04・08・12、両開き07・12サイズ、価格10万～18万円が販売全体の50%を占める。門扉グレード別販売割合：普及品（10万円）69%、中級品（18万円）25%、高級品（37万円）6%。型式別：開き48%、伸縮21%、引戸3%、跳ね上げ95、アーチ・門柱・その他19%の割合。

また、フェンスは高付加価値商品の目隠し系フェンスと木調フェンスへのニーズの高まりと、価格訴求商品のスチールメッシュフェンスが伸長傾向。

■カーポートの販売傾向——売れ筋商品：一般地域向けアール形状ポリカ屋根タイプ1台用25万円・2台用50万円の各シリーズが46%を占めている。一方、耐強風タイプ（レオンポートneo、ジーポートneo、レイナポートグランZ、イディオス、エフルージュワン50、エフルージュのツイン・ツイン50・ツインプラス・トリプル）が販売全体の27%。同じく耐積雪タイプ（ジーポートneo、イディオス、レジェンドγ）が22%を占める。

屋根デザイン：アール67%、フラット33%の比率。フラットタイプの内、折板が22%を占める。タイプ別：片側支持55%、両側支持45%。合掌・2台3台専用は17%。

門扉・フェンス/カーポートの地域圏別には、北海道・東北圏8%、関東・甲信越圏21%、中部・北陸圏22%、近畿圏19%、中国・四国圏14%、九州圏16%の販売比率。北海道・東北圏を除く、全域に大差なく展開している点の特徴。

【新商品・新技術情報】／業界の動き

YKK AP

「APWフォーラム2016東京会場」開催、1都7県での樹脂窓採用率を今年度15%まで引き上げる計画

YKK AP(堀秀充社長)は6月20日、東京千代田区の東京国際フォーラムで、2020年の義務化とZEHに向けた家づくりをテーマに、「APWフォーラム2016東京会場」を開催した。今年で5回目となる高性能樹脂窓の普及・啓蒙を推進する「APWフォーラム」は、5月12日の札幌会場を皮切りに全国50ヶ所・8000人の参加が見込まれている。

東京会場には、「APW431大開口スライディング」をはじめとしたAPWシリーズ、窓リフォーム「かんたんマドリモ」、高断熱玄関ドア「イノベスト」などのZEHを視野に入れた商品が実物展示された。第一部のプレゼンテーションにつづく、第2部ではパッシブハウス・ジャパン代表理事の森みわ氏が講演した。



YKK AP住宅東京支社の高村陽一社長は、東京支社管轄の1都7県で、樹脂窓「APW」は昨年度178%の伸びを示した。APW樹脂防火窓の品揃えをしたことで分譲住宅を中心に販売を拡大した。

YKK AP全体で樹脂窓比率を昨年の15%から23%へと引き上げる計画だが、東京支社も8%から15%へと拡大したいと、今後の大都市圏での樹脂窓の普及に自信を示した。

集合住宅用スマートドアに電気工事不要の「電池式電気錠」タイプを追加、簡単に電気錠への交換可能

YKK APは、ハンドル一体型電気錠「スマートコントロールキー」を標準搭載した集合住宅用スマートドア「R'sSDX」「EXIMA80St」に、電気工事不要の「電池式電気錠」タイプを7月追加発売する。

集合住宅用スマートドアは2013年6月の発売以来、新築向けに好評を得ている。今回の「電池式電気錠」タイプの追加により、新築・リフォームを問わず施工性がアップすることが大きなメリット。とくに、1日でスマートドアへの交換が可能になり、集合住宅用玄関ドアの改修ニーズの拡大を後押しすることが期待される。

機能は、従来通り「ピタットKey」と「ポケットKey」の2種類。今年1月発売の集合住宅向け共用

部システム「WAY PLUS」との連動も可能。価格:新築用「ピタットKey」17万8000円～、「ポケットKey」21万7000円～。改修用「ピタットKey」20万7000円～、「ポケットKey」24万6000円～。

『涼活』2016 始動、8月末まで実施、熱中症対策につながる快適な住まい、窓・玄関リフォーム提案

YKK APとパートナーシップを結ぶ全国のMADOショップは、『涼活』2016を例年より1ヶ月早い5月から開始、8月末まで実施する。

今年で4回目の『涼活』では、住宅内での熱中症と窓の意外な関係性や窓辺の対策について地域住民への発信、「熱中症予防声かけプロジェクト」への参画、打ち水イベント、各種ワークショップの開催をおこなう。また、YKK AP主催の「かんたんマドリモ 知って! 得しちゃおうキャンペーン」や、MADOショップ限定「Tポイント5倍キャンペーン」(対象工事期間7月1日～8月31日)を活用してリフォーム提案を強化する。

LIXIL

床タイル「1dayリフォーム」の「玄関床タイルリフォーム工法」新開発

LIXILは、1日で玄関の床タイルをリフォームできる「1dayリフォーム」の新工法「玄関床タイルリフォーム工法」を開発し、専用接着剤「R-QF」の提供を開始した。

新工法は、既存のタイルの上に専用接着剤を塗り、新しいタイル張り付けるタイル・オン・タイル工法で、1dayリフォームを実現する。

また、リフォーム玄関ドア「リシェントII」に合わせた納まり設計により、段差5mm以下のバリアフリー施工も可能。タイルは、豊富なバリエーションの外装床タイルから選択できる。「デザインセレクトナビ」による仕上がりイメージの確認も可能だ。

耐傷性、清掃性に優れ、部分張りできるリフォーム向けタイル「アクセントタイルシート床用」を新発売

耐傷性、清掃性に優れたタイルをアクセント張りできる、リフォーム向けタイル「アクセントタイルシート床用」を発売した。

これは部分張りできるタイルシートで、キッチンや洗面カウンターの前、自転車の手入れの場、ペットとの暮らしの場など、水はねや汚れが気になると

ころに最適なアクセントタイルシート。シートは、タイル目地部分が連結されており、施工の負担を軽減できることも特長。

昭和フロント

「ストアフロントコンクール」応募総数1542件の中からグランプリ作品に「フレスポ恵み野」(北海道)を選出



昭和フロント(長谷川伸二社長)は、「第47回ストアフロントコンクール」への応募総数1542件の中からグランプリ受賞作品「フレスポ恵み野」(北海道)——設計事務所:大和リース(株)札幌支店一級建築士事務所/建設会社:丸彦渡辺建設(株)/販売店・加工店:(株)タカフジ——をはじめ、店舗建築部門、一般建築部門の金・銀・銅賞(各1点)、アイデアの優良賞(3点)を選出、表彰した。

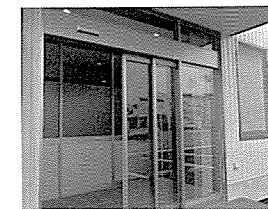
グランプリ作品について、八木幸二審査委員長は、エレガントな色調とパターンで壁面を構成し、大きく彫りの深いエントランス部分にはアソートとEcoLEDAを使って、昼は白いゲート、夜は行燈のような光る門となる。EcoLEDAの使い方として効果的な形と言えます。すっきりした建築の中央に力強いデザインのエントランスがあり、入ってみたいくなるような魅惑を感じさせるフロントデザインは、グランプリに値すると評価した。

■金賞——◆店舗建築部門「AUTO CAFÉ BUILDING」(千葉県) 設計事務所:(有)駒田建築設計事務所/建設会社:(株)栄建/販売店・加工店:トップエンジニアリング(株)。◆一般建築部門「(株)東芝水素エネルギー研究開発センター」(東京都) 同:一級建築士事務所UA(有)/同:大和リース(株)横浜支店/同:(株)エム・ファサード。

リフォーム需要向け「ダブルスライド自動ドア(内蔵タイプ)」追加発売

昭和フロントは、一般的な自動ドアよりも約1.3倍の有効開口を確保できる「ダブルスライド自動ドア(内蔵タイプ)」を、6月1日追加発売した。

2014年8月発売の直付タイプに追加したもので、最近のリニューアル需要の増加に対応するもの。無目部分がすっきりと納まり、意匠性が向上していることが特長。片引き・引分け、框見付60mm・欄間なし・下レール仕様。カラー:シルバー・ブラック・ステンカラーの3色。参考価格——FA120ドア組込・自動ドアレール仕様、W2000×H2500mm片引き・欄間なし・框見付45mm・シルバーで53万円。



三和シャッター工業

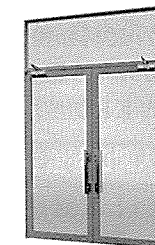
防犯性を損なうことなく室内温度の上昇を抑える窓シャッター「マドモアスクリーンGII換気タイプ」発売

三和シャッター工業(長野敏文社長)は、窓シャッター「マドモアスクリーンGII換気タイプ」を追加発売した。

これはシャッターカーテン下部に換気孔のスラットを配置したもので、シャッターを閉じたままでも換気孔から通風でき、防犯性を損なうことなく室内温度の上昇を抑える省エネ貢献商品。「マドモアスクリーンGII」は、サッシ上180mm以上、サッシ横50mm以上のスペースがあれば、シャッターボックスを取り付けることができ、リフォームに対応しやすくなっていることも特長。

防火仕様を除く「マドモアスクリーンGII」の電動タイプ・手動タイプ。設計範囲:幅715～3115、高さ700～2650mm。カラー:ブロンズ・ブラック・アイボリーホワイト・ブラウン・ステンカラー。

耐熱合わせガラス「ファイアライトプラス」採用の防火戸「ファイヤードS スチール開き戸タイプ」発売



三和シャッター工業は、耐熱合わせガラスを採用したガラス防火戸「ファイヤードS スチール開き戸タイプ」を6月13日全国発売した。「ファイヤードS」シリーズのオートドアタイプ、FIXタイプに続くもの。

基本仕様は、厚さ8.6mmの耐熱合わせガラス「ファイアライトプラス」、厚さ1.6mm溶融垂鉛めっき鋼板。設計範囲:片開きW1000×H2410mm、欄間付片開きW1000

×H3145mm、親子／両開きW2000×H2410mm、欄間付き親子／両開きW2000×H3145mm。今後、ステンスタイプなどのバリエーションを順次ラインアップする予定。

ケイミュー

厚型・軽量の新素材瓦「ROOGA（ルーガ）」の採用拡大に対応し東京営業所内に「ROOGA開発室」新設

ケイミュー（野浦高義社長）は、大手住宅会社を中心に厚型・軽量の新素材瓦「ROOGA（ルーガ）」の採用が進んでいることに対応し、6月1日付で東京港区の東京営業所内に「ROOGA開発室」を新設した。

「ROOGA」は、「屋根で減震」をキーワードに屋根を軽量化することで住宅へのダメージを軽減する屋根材として開発された。最近では耐震性への関心の高まりで、リフォーム市場における採用が拡大している。とくに今年から大手ハウスメーカーのリフォーム用途での採用がはじまり、今年度販売計画で前年比140%を見込んでいる。

ニチハ

G7伊勢志摩サミットのカーボン・オフセットに協力し1000t-CO²の自社保有クレジットを提供

ニチハ（山中龍夫社長）は、G7伊勢志摩サミットにおいて、経済産業省・環境省・農林水産省と外務省の連携により実施された「カーボン・オフセット」の取り組みに協力し、1000t-CO²の自社保有クレジットを提供した。

同社は、政府運用の認証制度「J-クレジット制度」において、これまで製造時年間8000t-CO²以上の削減、製品原料に国産材を使用し年間約20万t-CO²固定を行なっている。

今回提供されたクレジットは、外壁材製造時のCO²排出量の削減によるもの。習志野工場で灯油から高効率ガスボイラ（都市ガス13A）への「燃料転換、いわき工場では重油からLNG液化天然ガスへの燃料転換で創出した旧国内クレジット（旧J-VER制度）。

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部協会

新理事長・会長に白井春雄氏（LIXIL取締役副社長）選出、少子高齢化を踏まえ、製品の高機能化、リフォームの掘り起こしも今後の課題

日本サッシ協会／カーテンウォール・防火開口部

協会は5月30日、東京・明治記念館で平成28年定期総会を開催し、新理事長・会長に白井春雄氏（LIXIL取締役副社長執行役員・LIXILジャパンカンパニーCEO）を選出した。



白井春雄理事長

白井新理事長・会長は、「平成28年度において堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれるとされているが、今後加速する少子高齢化などを踏まえると、新築着工減少は避けられない状況になると推察され、業界としては、製品の高機能化、リフォームの掘り起こしも今後取り組むべき課題と思う。省エネに関しては、平成29年4月から2000㎡以上の非住宅の建物が義務化されるとともに、他の建物についても今後義務化されていく方向となります。また、建材トップランナー制度等、建物の省エネルギー推進に貢献できる業界であることが求められています。

省エネ化の普及啓蒙に努めると共に、防火、防犯といった様々なニーズにこたえる製品の市場投入も促進し、業界を挙げて我が国の良質な建物、住宅の形成に貢献していく。とくに、基準整備促進事業における「防火設備に関する構造方法の告示化の検討」につきまして、事業主体としてカーテンウォール防火開口部協会と協力して取り組んでいきます」と挨拶した。

全国自動ドア協会

新会長に上仲宏二氏、副会長に古野重幸氏、山村望氏の新3役体制選出「歩行者用自動ドア設置時の安全性」の2017年JIS化に注力



上仲宏二会長

全国自動ドア協会は6月10日、東京・アジュール竹芝で2016年度定期総会を開催し、会長に上仲宏二氏（ナプテスコ常務執行役員・住環境カンパニー社長）、副会長に古野重幸氏（フルテック代表取締役社長）、山村望氏（ナプコシステム代表取締役社長）の新3役体制を選出した。また、2016年度優秀自動ドア施工技能士授章者19人が表彰された。

今年度の事業は、自動ドア製品安全規格のJIS制定に向け、経済産業省での審議に協力すること、JIS制定に向け安全ガイドラインの見直し、設計ガイドラインの制定、協会会員及び外部関連団

体への告知と啓蒙を幅広く行なうことなどを中心に進める方針を掲げている。

2015年度総生産台数は14万5000台（前年度比1.4%増）、このうち国内向け12万7000台、輸出18万台の実績。国内据付台数は12万7763台（1.8%増）。用途別には、ビル用6万6681台（2.8%増）、ストア用4万9625（0.8%増）、産業用1万1457台（横ばい）。ビル用が全体の52.2%を占めた。また、取替え台数は4万0537台（31.7%）と、据付全体の30%を突破、さらなる拡大が見込まれている。

今年度は総生産台数15万台（3.4%増）、国内向け13万3000台（4.7%増）、輸出17万台（5.6%減）と予測する。

日本アルミ手摺工業会

新会長に大吉弘ビルテック社長——「アルミ手すりの定期点検の必要性を関連団体と協力しひろく訴えていく」

日本アルミ手摺工業会は6月16日、第11回定時総会を開き、新会長にビルテック（株）の大吉弘氏、副会長に三協立山（株）の市川貴氏、白水興産（株）の福谷康蔵氏の新3役を選出した。



大吉弘会長

大吉会長は、今年度事業計画として、ユーザーへの信頼性を向上するため、二次元コード（QRコード）貼付制度の取り組みの継続、関連団体と連携して手すり劣化診断書の共通ルール化を構築することをあげると共に、関連団体と協力してアルミ手すりの定期点検の必要性を広く訴えていくと強調した。

2014年度ビル用アルミ手すり市場は、数量325万m（前年比4%減）・金額278億円（同5%減）と想定。このうち会員14社の実績は、数量183万7000m（同7%減）、金額184億円（同9%減）で、シェア数量57%、金額66%と推定する。なお、会員実績のうち、改修向けは10%強にとどまる。

登録会員：井上商事、久米工業、三協立山、三洋工業、サンレール、ツヅキ、トライエンジニアリング、日昭アルミ工業、白水興産、ビニフレーム工業、ビルテック、森田アルミ工業、安田、ユニテの各社。

日本建材・住宅設備産業協会

新会長に石村和彦氏（旭硝子代表取締役会長）就任、リフォームビジネス拡大、新築住宅ZEH実現を支援

日本建材・住宅設備産業協会は6月14日、東京・



石村和彦会長

明治記念館で定時総会を開き、新会長に石村和彦旭硝子代表取締役会長、副会長に瀬戸欣哉LIXIL代表取締役社長兼CEO、澤木良次大建工業代表取締役会長、吉岡民夫

パナソニック（株）エコソリューションズ社長、柳川匡史旭ファイバーグラス代表取締役社長ら新役員を選出した。

石村会長は、昨年度に引き続き3つの重点テーマに取り組むと挨拶した。第1にリフォームビジネスの拡大への取り組みで、規制緩和部会の名称を「規制改革部会」と改めリフォーム市場活性化に貢献する。またエネルギー・環境委員会に「ZEH検討分科会」を設置し、2020年までに標準的な新築住宅でZEHの実現をめざすロードマップ実現のための支援事業を実行する。第2に経済産業省の委託事業であるグリーン建材普及促進基盤構築事業は、「国際標準化」と「国際交流」の2本柱をもって事業展開を図っている。国際交流では、インドネシアで窓の熱性能と節水トイレ、ベトナムでは窓の熱性能に関するJISと、塗料／建材に関するJISの展開について進捗している。第3に情報提供サービス「カラタボ」の更なる機能改善とPRにつとめる。

日本木製サッシ工業会

新会長に民谷浩二氏（タミヤ代表取締役）、「HEAT20外皮性能グレードG1・G2」テーマに研修

日本木製サッシ工業会は6月17日、東京・東海大学校友会館で、第7回通常総会及び研修会を開催し、新会長に民谷浩二氏（タミヤ代表取締役）を選出した。



民谷浩二会長

今年度事業計画として、国土交通省建築基準整備促進事業の防火設備（窓）に関する構造方法の告示化委員会（実施主体：カ防協）への参画、2020年「省エネ基準適合住宅の義務化」に向けて、木製サッシの断熱性能の有効性を発信できるようにISO基準での計算による断熱性能値を示せるようにする——などを決めた。また研修会では、「外皮性能の役割と方向／HEAT20外皮性能グレードG1・G2」をテーマに、布井洋二氏（旭ファイバーグラス障害技術担当部長）が講演した。

統一の原点。



ルシアスシリーズで美しい外構を

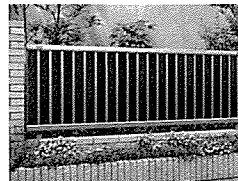
フェンス

門扉/機能ポール

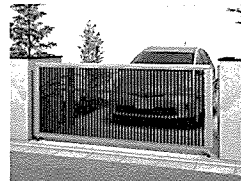
ゲート



ルシアス 門扉AS01型 04-08-14



ルシアス フェンスF01型 T80(自由柱施工)



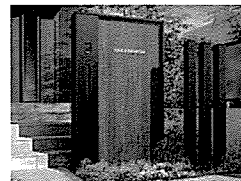
ルシアス アップゲート04型 30-12H(手動タイプ)



ルシアス ポストユニットAS03型



ルシアス サインポールA01型



ルシアスウォール02型

新商品の「ルシアス」シリーズは、外構をトータルコーディネートできる商品をそろえました。門扉・フェンスから機能ポールやカーゲートまで外構デザインまた、住宅デザインに合わせてお選びください。

LUCIAS

門扉(17デザイン)・ポストユニット(17デザイン)・フェンス(10デザイン)・アップゲート
ルシアスウォール(4デザイン)・ルシアスサインポール(2デザイン)

関連商品: エントランスシステムひさし



いつもの場所を、価値ある空間に



「線」で仕切る新発想ファサード

NEW



美ファサード

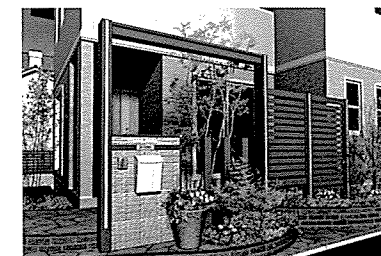
開放感そのままに。
オープンなファサードを
美しく演出します。



木調 Gタイプ+Tタイプ (セピアブラウン)



木調 Aタイプ (ライトブラウン+ステンカラー)



木調 Aタイプ (マロンブラウン)



アルミ Aタイプ (ステンカラー)

YKK AP株式会社

お客様相談室 一般のお客様 ☎0120-20-4134 建築・設計関係者様 ☎0120-72-4134

●受付時間/月曜～土曜 9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

<http://www.ykkap.co.jp/>



四国化成工業株式会社
<http://kenzai.shikoku.co.jp>

札幌 TEL.022(374)4110 神奈川 TEL.045(253)4111 中国 TEL.086(245)3811
北関東 TEL.0493(62)4127 中部 TEL.052(705)0111 四国 TEL.0877(58)5211
東京 TEL.03(3451)4111 近畿北陸 TEL.06(6339)4111 九州 TEL.092(431)4111

日本のエクステリアを 変えていく。



「ポイントルーフタイプ」と「ウォールスクリーン」でつくるファサード

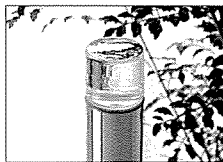
日本の街並みを、もっと美しく。

2016年。LIXILは「ファサード」に力を入れていきます。
一軒一軒の住まいの表情を美しくすることこそが、
その街全体を美しくすることにつながっていくから。

もっと美しく。もっと便利に。もっと省施工へ。

世の中の変化に応えるために、LIXILは皆さまとともに、
日本のエクステリアを変えていく決意です。

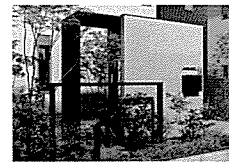
美しい街並みも、暮らしの感動も、
ひとつひとつの「エクステリア」から。



エクステリアライト「美彩」



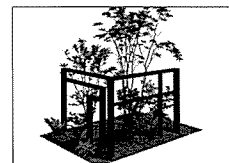
ガルーフ「ポイントルーフタイプ」



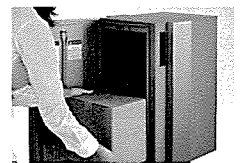
デザイナーズパーツ「ウォールスクリーン」



デザイナーズパーツ「デザイナーズボード」



デザイナーズパーツ「アレンジフレーム」



リンクボックス

making-up
façade
メイキングアップ ファサード

「メイキングアップ ファサード」活動中！

LIXILは、エクステリア業界の活性化、市場規模拡大をめざし、
継続的な商品開発とプロモーションで、素敵なファサード
(門まわり)空間を提案しています。今後も、ご注目ください。